ゆたかな心をはぐくむ

人権のひろば 124

人権教育・啓発課　☎(232)2113

人権啓発標語　「話をしたら　わかってくれて　うれしいよ」　武蔵ヶ丘小学校　2年　三船　泰誠(たいせい)(現在3年生)

「いろんなことをする学しゅうかい」

菊陽北小学校　1年　相馬　さくら(現在2年生)

ともだちとともに

わたしは、学しゅうかいにいっています。学しゅうかいでは、先生のおはなしをきいたり、一年生でまるくなっておはなしをしたりします。そのあと、あそんだりつくったりします。

先生のおはなしは、いのちのはなしとかおともだちのはなしです。おはなしの中で、わたしが一ばんこころにのこっているのは、二年生の先生がおとうさんとおかあさんのおはなしをしたことです。

一年生でまるくなってけんかのおはなしをしたことがありました。わたしは、そのとき、ボールをもってかえりたいなら、ボールをとらないで

「もってかえりたい」

と口でいえばいいとおもいました。はなしあいをしてなかなおりができました。なかなおりをしたのを見て、もっともっとおともだちになったとおもいました。

さいごに、二年生といっしょにあそびます。しっぽとりとかふうせんバスケットをします。わたしは、しっぽとりでさいごまでのこったのがうれしかったです。

おともだちといっぱいあそんでおともだちがいっぱいできました。学しゅうかいに入ってよかったです。わたしは、一年生のぜんいんとなかよくなれたけど、二年生は二人しかなかよくなっていないから、二年生の人もふやしていきたいです。

(先生から)学しゅうかいでは、お友だちと一緒にたくさん遊びましたね。ときどきけんかするときもあったけれど、そのときは、話し合いをして仲直りしましたね。そうやって、お友だちと仲良くなっていきました。学しゅうかいのことをクラスの人たちに伝えて、クラスの友だち、みんながもっともっと仲良くなってくれるといいですね。

8月・夏、平和について考える

文責：地域人権教育指導員　村上　秋成

51年前に中学3年生であった私は、「第4回熊本―沖縄親善スポーツ少年団」の団員として初めて沖縄を訪れました。当時はパスポートが必要でしたが、港での歓迎式で沖縄上山中生徒会長から「沖縄のことをよく見、よく聞き、正しく理解し、熊本と沖縄の友情を深めましょう」と歓迎式であいさつを受けました。50年経った昨年三度目になりますが、沖縄訪問をしました。目的は「沖縄をよく見、よく聞き正しく理解」するためでした。6月23日に開催される沖縄平和祈念式典の場に身を置き沖縄に自分を近づけたいと思いました。6月23日は《沖縄慰霊の日》です。忘れてはならない日だと思います。

日本国憲法前文には「・・・政府の行為によって再び戦争の惨禍(さんか)が起こることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。・・・」と書かれています。

「戦争の惨禍」が起こることのないようにとの思いで、今年作製した菊陽町人権カレンダー8月には、次の書き込みを行っています。8月6日(ヒロシマ原爆投下の日)、8月9日(ナガサキ原爆投下の日)、8月15日(「終戦」記念日)です。この日には平和祈念式典が開催されますが、平和への願いを共有したいと思います。菊陽町図書館には、戦争と平和について考える絵本や読み物があります。この夏、子どももおとなも共に平和について考え合いたいです。

学校だより 15

武蔵ヶ丘中学校

自他の生命を守る運転を！

武蔵ヶ丘中学校(中尾幸治校長、生徒数840人)では「夢・目標に向かって挑戦・前進～一致団結！」を教育目標に掲げ、学校一丸となって取り組んでいます。

6月18日㈫、大津地区交通安全協会の三池富美男さんを講師として迎え、交通安全教室を行いました。生徒は日頃の自転車の走行などを振り返りながら大変意欲的に学ぶことができました。今後も交通安全に対する意識の向上はもちろん、自他の生命を守る態度の育成や危険予知・回避能力を高める指導を行っていきます。

交通安全教室の様子

きくよう文芸

菊陽句会報

青梅の人待ちかねて落ちにけり　田島　三閒

ドライブや見事ポピーの花の園　宮川ユキエ

穂麦の香(か)夕べの風に黄色波(こがねなみ)　紫藤　祥子

母の味祖母の味なる辣韮(らっきょう)漬く　曽我　育代

栗の花匂ひむん宵の郷(さと)　曽我トモ子

苗代(なわしろ)や一粁(きろ)程に鼻ぐり関　緒方チエ子

退位され健やかな日々桐(きり)の花　米山るみ子

母の日やときめき開ける宅配便　吉田　幸子

阿蘇の初夏自慢してゐるバスの旅　志賀キヨ子

夏の夜や時巻きもどす古日記　財津　早雪

梅雨寒や妣(はは)の思ひを辿(たど)りみる　原野レイ子

落ち梅や拾へば香る掌(たなごころ)　寺尾千代子

苗代(なわしろ)や希望の色に満ち溢れ　高橋　孝子

青梅や洗ってほして今日終る　福田　貴子

新緑の山路を縫ふて友来る　北川しんじ

衣更若(ころもがえ)やぐ心まだ残し　佐藤　澄世

短歌会

グルックルーと手摺(てすり)りに啼(な)ける鳩(はと)を真似(まね)わが返せるも沈黙流る　有久　賢治

母の日と父の日の差は歴然と箱詰めメロンの売れ行き伸びず　梅田　國雄

やわらかき汝(な)が手に今日はふれにけり曾孫(ひまご)というやわらかき手に　河北　孝一

かすかなる香りに進めば塀越えて風の向こうに蜜柑(みかん)咲きおり　佐藤せい子

夏日受け白き花付く夏椿(つばき)ブランコ揺れるその傍らに　中村トシエ

オオバコの近くにツボミオオバコもこの道の辺に花穂を伸ばす　松本　東亜